

## 点検1 水害などの危険箇所を総点検

市は、大雨による水害や土砂災害、地震災害への備えとして、平成26年から毎年、市内の危険箇所を総点検しています。

今年は、台風や集中豪雨による中小河川の氾濫防止に重点を置いて実施しました。5月17日～7月16日に、市の職員延べ1,642人を動員し、市内の151河川や水路をはじめ、危険箇所など約4,400箇所を点検。中小河川や雨水を一時的に溜める調整池の土砂の堆積状況、堤防・護岸の破損状況などを確認しました。また、

過去に浸水被害のあった地区的区長への聞き取り調査も併せて実施。道路の側溝や用排水路などを重点的に点検しました。

点検の結果、土砂や立木などの障害物がある河川や水路、護岸や水門など、183箇所で対応が必要なことが判明。市が管理している箇所のうち、37箇所は既に対策を行い、残りの箇所も今後速やかに対策を実施します。国や県などが管理している箇所については、改修工事や障害物の撤去など改善の要望を行います。



河川の中の草や立木などを伐採し、円滑な水の流れを確保



道路脇ののり面が崩れた痕を確認。復旧工事を実施予定



堆積した土砂の撤去や立木の伐採など、改善を要望

**点検対象地区の区長さんに聞きました**

上大類町は、複数の水路が流れているので、台風や大雨などがあると上流からの水が集中してしまいます。水が住宅地の近くまで迫ることもある。7月の大暴雨では、床下浸水の被害がありました。市が危険箇所を聞き取ったり、現地を点検したりして、対策を検討してくれているので、本当に心強いです。地域の人たちが安心して暮らせるように、これからも市と協力していきます。

上大類町  
長井 徹雄さん



水の流れを妨げる河川内の草を除去



地下道の排水ポンプを修繕



土砂災害の危険のある造成地などで緊急点検を実施



雨水を一時的に溜める調整池に異常がないか点検



側溝内の障害物などを確認

### 河川や水路、造成地などで対策強化

## 水害や土砂災害に備え 危険箇所の総点検を実施

市は、台風や集中豪雨などによる災害に備えるため、平成26年から毎年実施している危険箇所総点検を今年も行いました。また、今年7月に静岡県熱海市で大規模な土砂災害が発生したことを受け、山間部を中心に、大規模開発地や盛り土造成地などの緊急点検を追加で実施しました。

今回号では、点検の結果や災害時に情報を伝える市の取り組みなどについてお知らせします。

問い合わせは、防災安全課（☎321-1352）へ。



## 災害の情報をさまざまな手段で伝えます

市は、災害や避難に関する情報をさまざまな手段で市民に伝えます。災害の危険が迫ったら、早めに避難所を開設。小中学校の防災スピーカーや公用車を使って、避難を呼びかけます。

災害や避難の情報は、市ホームページや市防災情報ツイッター、市防災情報フェイスブック、ラジオ高崎(76.0MHz)でお知らせする他、次の3つの方法でもお届けします。

### ■テレビ画面でいつでも確認できる

避難指示など災害時の情報が、群馬テレビのデータ放送で確認できます。データ放送を見るには、群馬テレビ(3チャンネル)を映し、テレビリモコンのdボタンを押してください。表示された項目から「高崎市のお知らせ」を選択すると、配信中のお知らせが一覧で表示されます。

問い合わせは、広報広聴課(☎321-1205)へ。



### ■いち早く情報を得られる安心ほっとメール

気象情報や市が発令する避難指示などの情報をメールで配信します。携帯電話やスマートフォンで24時間受け取れます。登録は無料です(通信料は利用者負担)。

問い合わせは、情報政策課(☎321-1210)へ。



登録はこちら

### ■高齢者などには電話やファクスでお知らせ

市が発令する避難指示など災害時の避難に関する情報を、電話やファクスで発信する「災害時電話・FAXサービス」の利用登録を受け付けています。対象は、65歳以上の人や障害者手帳を持っている人と、その家族で、利用には登録が必要です。市外に住んでいる家族や、日中家に高齢者が一人だけになってしまう世帯の人なども登録できます。

申し込みは、市役所7階防災安全課、1階障害福祉課、2階長寿社会課、各支所市民福祉課にある申込書に記入して、同課へ。



自力で避難できない人は…  
**高崎市の災害専用電話**

**027-321-5000**

避難が必要なとき、自力で避難することができない人は、「高崎市の災害専用電話」に連絡してください。公用車やバスが迎えに行きます。本人の他、周囲の人でも手助けが必要な場合は電話してください。

3箇所で工事完了  
8箇所で工事などを実施予定



過去の災害で復旧工事を行った箇所を再確認



ドローンを使い上空からも点検



雨水を流す側溝の状況を確認

市は、今年7月に静岡県熱海市で発生した大規模土砂災害を受け、山間部を中心に、土砂災害の危険箇所の緊急点検を追加で実施しました。7月6日～8月2日に、市の職員延べ370人を動員し、土砂災害警戒区域周辺の大規模開発地や盛り土造成地、砂防堰堤、急傾斜地にある最終処分場や森林伐採地など241箇所を点検。土砂崩れの痕跡や地面のひび割れ、のり面の侵食や滑り、擁壁の破損、湧水の濁りがないなどを確認しました。

点検の結果、直ちに大きな災害につながる危険性は低いものの、小規模な土砂崩れの痕跡などを確認。大規模開発地や盛り土造成地など11箇所で対応が必要なことが判明しました。そのうち3箇所では改修工事が完了。残り8箇所でも土地所有者への指導や工事などをを行っていきます。

### 熱海市に緊急消防援助隊を派遣しました



高崎市等広域消防局は、7月3日に発生した静岡県熱海市での大規模土砂災害の救助活動のため、7月18日～24日に緊急消防援助隊を派遣しました。

派遣は、県内の各消防と合同で実施。同局からは、消火小隊、救助小隊、通信支援小隊、後方支援小隊の計12隊48人が、津波・大規模風水害対策車、救助工作車、無線中継車など車両5台とともに派遣されました。救援隊は、現地で土砂やがれきの撤去を行ながら、救助活動に当たりました。

問い合わせは、消防局警防課(☎324-2216)へ。

## 点検2

# 山間部の造成地など 土砂災害の危険箇所を緊急点検